

イカ釣り漁業へ革新的技術の導入に向けて 省エネ型LED集魚灯と利用技術の開発

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産研究・教育機構 公開日: 2025-01-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 梶川, 和武 メールアドレス: 所属: 水産研究・教育機構
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2012568

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



イカ釣り漁業へ革新的技術 の導入に向けて

省エネ型LED集魚灯と利用技術の開発



海洋生産管理学科

梶川 和武

研究の目的

沿岸イカ釣り漁業は、山陰西部から九州北部の地域で主幹漁業となっています。しかし、近年、燃油が高騰しているため、本研究では、低消費電力でかつ最適な光特性を持ったLED集魚灯を開発し、漁獲技術の開発を目的としました。

研究の成果

既存灯に比べ1/5の消費電力で稼働するLED集魚灯を試作しました(図1)。操業前半に本集魚灯を大光量で照射、ケンサキイカを漁船付近まで集め、操業後半に光量を小さくして、釣獲しやすい光環境を作ることで、既存灯と遜色なく漁獲できることを明らかにしました(図2)。



図1 漁船に搭載した試作省エネ型LED集魚灯

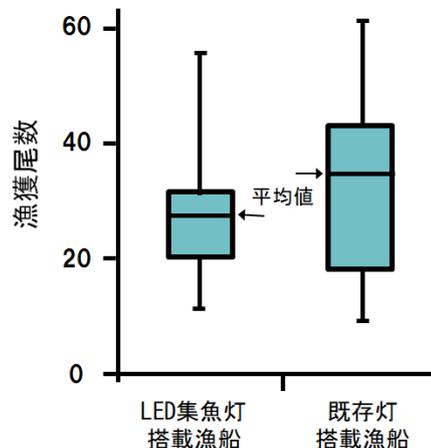


図2 LED集魚灯と既存灯の漁獲比較試験

波及効果

- ・沿岸イカ釣り漁業の経営の向上
- ・中型イカ釣り漁業への応用